



新しい取り組みが、心豊かな学びを支える

宇土中高では、生徒たちが心身ともに健やかに成長できるよう、独自の取り組みを進めています。その代表的なものが「ウトウトタイム」と「UTO探究週間」です。

「ウトウトタイム」は、昼休み後の10分間、全校生徒が一斉に仮眠をとる時間です。午後の授業の集中力を高めるとともに、部活動のパフォーマンス向上に大きな効果を上げています。この取り組みは導入当初から、筑波大学の柳沢正史教授から直接、専門的な指導と助言を受けています。柳沢教授は、アメリカ版ノーベル賞とも言われる「ラスカー賞」を受賞なさった、まさに世界的な睡眠研究の権威です。一流の科学的知見に基づいた10分間、日々の充実した学校生活に活力をもたらしています。

さらに本校では、10月下旬に「UTO探究週間」を設けています。気候の良い季節に、生徒たちは海外研修や大学のオープンキャンパスへの参加といった探究活動、また部活動などに全力で打ち込むことができます。

こうした日々のリフレッシュと四季の長期休暇を活かし、生徒たちは新たな目標へ向けて主体的に歩みを進めています。熊本地震被災という逆境にめげず、知恵と工夫で前進を続ける本校のさらなる発展に、温かい応援をよろしくお願いいたします。



10分間の昼寝で午後からもスッキリ！



関東研修時に柳沢教授の講義を受講

市民会館だより 宇土市民会館 ☎(22)0188



ハレの場は、なくなるらない。

第11回 地域伝統芸能祭 11月22日(日) 鶴城中学校 体育館



宇土に受け継がれてきた雨乞い大太鼓、御獅子舞、花棒踊。いずれも、もとは境内や広場で、人の輪の中で打たれ、舞われてきた芸能です。

11回目を迎える今年の地域伝統芸能祭は、市民会館の大ホールが使用できないため、鶴城中学校の体育館に場所を移して開催します。しつらえられた劇場空間ではありません。そのぶん、打つ音も、唄も、足拍子も、演者からまっすぐに届きます。

出演は宇土市内の3団体に加え、今年は香川県から阿波おどりの「阿讃連」、鹿児島県奄美群島・喜界島から奄美シマ唄の「安田民謡教室」をお招きしました。阿波おどりと奄美シマ唄の踊り節では、お客さまも一緒に踊ることができます。

場所が変わっても、芸能を受け継いできた人たちがいて、それを見に集まる人たちがいれば、祭りは続きます。入場は無料です。ぜひ会場へお越しください。

日 時	令和8年11月22日(日) 開場13:00／神事13:30／開演14:00／終演16:00予定
会 場	鶴城中学校 体育館(宇土市新小路町151) 入場無料
出 演	宇土雨乞い大太鼓保存会／宇土御獅子舞保存会／松山花棒踊保存会／阿讃連(香川県・阿波おどり)／安田民謡教室(鹿児島県奄美群島・喜界島・奄美シマ唄)
駐車場	宇土市民会館駐車場(90台・会場まで徒歩約2分)、鶴城中学校職員駐車場(50台)
問合せ	宇土市民会館 ☎(22)0188